



2026年1月30日

株式会社レダックス
(東証スタンダードコード: 7602)

報道関係者各位

米国NASDAQ上場AIインフラ企業「SuperX」グループと業務提携
日本国内における販売代理店権を取得
～Tech·Fin戦略におけるAIサーバーの国内供給体制を確立し、
インフラ担保型金融商品の開発も視野に～

株式会社レダックス（本社：東京都千代田区、代表執行役会長：加畠雅之、東証スタンダード：7602、以下「当社」）は、本日2026年1月30日、米国NASDAQ市場に上場するAIソリューション企業 SuperX AI Technology Limited（本社：シンガポール、NASDAQ: SUPX）のグループ企業である SuperX Industries 株式会社（本社：大阪府大阪市、以下「SuperX Industries」）と基本合意書（MOU）を締結いたしました。

本提携により、当社はSuperX社製AIデータセンター向け高性能サーバー等の日本国内における販売代理店権を取得し、急拡大する国内AIインフラ市場へ本格参入いたします。



※インターナショナルホテル大阪にて報道各社約100社を集めた契約締結式を開催

■ 提携の背景と目的：Tech·Fin戦略による事業領域の拡大

生成AIの世界的な普及に伴い、その計算基盤となるデータセンターおよび高性能AIサーバーへの需要は、日本国内においても爆発的に増加しており、供給が追いつかない状況が続いている。

SuperX社は、AIデータセンター向けサーバー、液冷システム、統合ソリューションを提供するグローバル企業であり、日本市場を戦略的最重要地域と位置づけています。

本件は、当社が掲げる成長戦略「Tech·Fin（テクノロジー×金融）」構想に基づく既定のプロセスの一環であり、当社グループが従来の「中古車の卸売・流通事業」から、最先端の「AIインフラ供給および関連金融事業」へと事業ポートフォリオを劇的に拡大させることを意味しています。

■ パートナー企業の強み：NASDAQ 上場企業の技術と国内生産体制

SuperX 社は、AI データセンター向けサーバー、液冷システム、統合ソリューションを提供するグローバル企業であり、日本市場を戦略的最重要地域と位置づけています。同社は三重県津市に年産最大 2 万台の能力を持つ供給センターを稼働させており、「最先端技術」と「国内製造による信頼性・納期優位性」を両立できる稀有な存在です。

当社は、この強力な供給体制を持つ SuperX グループをパートナーに迎えることで、国内の AI インフラ構築を強力に支援します。

■ 本提携のシナジー：ハードウェア供給と金融スキームの融合

本提携の最大の特長は、単なる製品販売にとどまらない点にあります。

SuperX グループの技術力・供給力と、当社グループの営業力に加え、「AI インフラを活用した新たな金融商品の開発」を推進します。

これにより、ハードウェア導入と金融ソリューションの両面から市場を開拓することで、新たな収益の柱を構築してまいります。

■ 今後の展望

当社は本事業を中長期的な成長戦略における新たな収益の柱と位置づけ、初年度から積極的な販売活動を展開します。

日本国内における AI 社会の実装をインフラ面から支えることで、社会課題の解決と当社の持続的な企業価値向上を実現してまいります。

■パートナー企業について

名称： SuperX AI Technology Limited （SuperX Industries 親会社）

本社所在地： 30 Pasir Panjang Road, #06-31, Mapletree Business City, Singapore 117440

代表者： Chairman & CEO Chenghong Huang

上場市場： 米国 NASDAQ 市場（ティッカー：SUPX） 時価総額：約 680 億円（約 4.4 億米ドル）

事業概要： AI データセンター向け高性能サーバー、液冷システム等の提供および統合ソリューション事業

■株式会社レダックスについて

会社名：株式会社レダックス

証券コード： 7602 （東証スタンダード）

URL： <https://www.ledax.co.jp/>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社レダックス 経営企画室 担当：高橋英知

電話：03-3239-3185 ir@ledax.co.jp